

平成 26 年 5 月 9 日

経営改善計画について

長電バス株式会社

1. 改善計画の実施方針

- (1) 弊社の経営状況は、平成 22 年度から平成 24 年度の 3 期連続赤字となり、平成 25 年度では貸切バス車両の売却益もあり単年度黒字決算となったものの平成 26 年度においては赤字決算を見込んでいます。
- (2) このような状況にあつて、弊社経営改善計画は 2 年以内に効果の見込める即効性のある施策と、改善効果が表れるまで 3 年以上を要する中期施策について、改善効果のバランスを考慮して実施していく方針です。
- (3) この改善計画実施により、平成 26 年度は赤字決算となるものの平成 27 年度では単年度黒字化を見込み、以後、平成 30 年度までに黒字定着を図るとともに、経営の安定化と健全性を向上してまいります。

2. 改善計画の概要

(1) 即効性を見込める施策

ア. 増収策

① 今般の運賃本改定

- ・平成 26 年 7 月改定予定
- ・増収見込み：平成 26 年度：190 百万円余、平成 27 年度 600 百万円余

② 山ノ内町観光連盟とタイアップした新規観光路線開設

- ・山ノ内町一軽井沢駅 直行バス、5 月～10 月の季節運行
- ・運行費補償契約輸送、増収見込み：400 百万円余

③ 貸切バス改善計画推進による増収

- ・減車（9 両）に伴う需要引締めと効率的受注管理による増収
- ・増収見込み：300 百万円余

④ 高速バス富山線の通年運行による増収（平成 25 年 9 月運行開始）

- ・増収見込み：500 百万円余

イ. 赤字路線への市町村補填、或いは路線見直しによる損益改善

① 平成 26 年 10 月実施予定

- ・補助金等受給後も赤字となっている 9 路線（26 系統）のうち 2 路線（3 系統）の改善
- ・改善見込み：平成 26 年度 200 百万円余、平成 27 年度 400 百万円余

② 平成 27 年 4 月実施予定

- ・残り 7 路線（23 系統）の改善
- ・改善見込み：平成 27 年度 1100 百万円余

(2) 中期的な施策

ア. 増収策

① 弊社営業エリア内の観光地と他社営業エリア内の観光地を結ぶ新規路線開設

- ・上林－白馬線、平成 26 年 12 月運行開始予定
- ・増収見込み：平成 26 年度：1,200 百万円余

平成 27 年度から平成 30 年度の間に段階的な増収とし、

平成30年度で3百万円余の増収を見込む

②海外からの旅行者をターゲットとした成田から弊社営業エリア内観光地への直行便運行

- ・成田ー野沢線、平成26年12月運行開始予定（3月までの季節運行）
- ・増収見込み：平成26年度：1百万円余
平成27年度から平成30年度の間に段階的な増収とし、
平成30年度で2.4百万円余の増収を見込む

③平成27年3月の北陸新幹線飯山駅開業に伴い、新幹線に対する2次交通として周辺観光地への直通便運行

飯山ー斑尾ータングラム線

平成27年4月運行開始予定

増収見込み：平成27年度：1百万円余

平成28年度から平成30年度の間に段階的な増収とし、
平成30年度で2百万円余の増収を見込む

飯山ー湯田中ー志賀線

平成27年4月運行開始予定

増収見込み：平成27年度：1百万円余

平成28年度から平成30年度の間に段階的な増収とし、
平成30年度で3百万円余の増収を見込む

④おでかけパスポートの事業者負担軽減による増収

- ・現行事業者負担3割を平成27年度から5年間で1.5割負担に段階的に軽減
- ・増収見込み：平成27年度：2百万円余、平成28年度：6.6百万円余、
平成29年度：1.1百万円余、平成30年度：1.6百万円余

⑤高速バス大阪線の路線延長による増収、富山線の新幹線開業効果による増収

大阪線

- ・増収見込み：平成27年度：2百万円余、平成28年度：1百万円余、
平成29年度：1百万円余

富山線

- ・増収見込み：平成27年度：4百万円余、平成28年度：2百万円余、
平成29年度：1百万円余

⑥貸切バス新運賃制度への移行による増収

新運賃制度（時間・キロ併用制運賃）への移行は平成26年度中に行われるが、関係業界・利用者への周知に時間がかかることから、増収効果は平成27年度以降と見込む。

- ・増収見込み：平成27年度：7百万円余、平成28年度：7百万円余

(3) サービス向上、需要喚起策

ア. 長野電鉄(株)電車と弊社バスとをセットにしたフリー乗車券発売

本年7月発売予定

イ. 目的別時刻表のシリーズ化

第一弾「通学応援」を本年3月にHPに掲載、第二弾、三弾を、今後6、9月に掲載予定

ウ. HPについては、本年2月に一部リニューアルを実施、今後、「見やすい、利用し

やすい」を重点にしたHP全面リニューアルを、平成26年度から平成27年度にかけて実施予定

エ. ICカード利用データ分析に基づき利用しやすいダイヤ編成、他の市町村へのICカード導入に向けた積極的な取り組み

オ. 小学生低学年や幼稚園児を対象とした「バス乗り方教室」を過去2回（平成24年10月10日、平成25年9月8日）実施。

本年も9月27日開催予定のバス祭りにて実施、また、次年度以降についても、年1回の実施を予定。

カ. 高校生に対しては、各高校の入学説明会向けにバス利用の資料（HP「通学応援」の紙ベース資料、バスの利用方法など）を提供（もしくは説明会での直接説明）を予定。

キ. 長野市交通対策審議会「公共交通ネットワーク最適化部会」及び「公共交通利用促進部会」において、平成26年度での答申に向けた協議に参画しており、答申内容の施策については積極的に推進する予定。

「公共交通利用促進部会」での検討内容

①公共交通利用環境、②公共交通利用に対するインセンティブ、③自動車の規制、④自転車の適正利用と公共交通機関との連携の5方向性

ク. 平成26年度に、運転士総合教育計画の見直しを予定しており、事故削減やお客様へのサービス向上への取り組みを重点に行う予定。

サービス向上への取り組みについては、平成26年度経営方針と目標の一つとして「お客さまに気持ち良くご利用いただき、ながでんファンになってもらう行動を徹底する」、「安全・安心でホッとさせるバス運転手No.1への挑戦」を掲げており、この方針・目標を達成するため、お客様の目的・要望に沿った対応ができるよう、具体的な教育内容の見直しを行う予定。

※以上のサービス向上・需要喚起策により増収効果が期待されますが、計数試算では逸走率を0.7%に抑えた試算にしてあります。

なお、平成27年度は消費税の再値上げが予定されていることから逸走率を1.5%として試算してあります。